

熊本産業展示場 指定管理者 平成30年度 管理運営評価票

所管部課：商工観光労働部観光物産課

I 施設の管理概要

指定管理者名	熊本産業文化振興株式会社	
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日	
施設概要	設置目的	本県の産業の振興及び県民の文化の向上
	施設区分	産業展示場 (参考) 名称:熊本産業展示場(グランメッセ熊本) 施設規模:建築面積 15,825㎡ 展示場面積 2,000㎡×4(最大8,000㎡)
指定管理料	0円(利用料金制)	

II 管理運営の評価

1 管理業務の水準の評価

管理業務の水準を表す指標	目標値	実績値	備考
年間来場者数	900,000人	950,141人	
年間催事件数	120件	136件	展示ホールのみ

【点検・調査結果及び評価】
H30は年間を通して開館でき、催事件数は過去最多、来場者数も95万人と良好。(H29年度は6月まで展示ホール閉館)

2 管理業務実施状況

① 施設維持管理業務実績

作業項目	実施日	内容
建物設備保全	毎日及び適時実施	仕様書及び年次計画にて実施
清掃	毎日及び適時実施	仕様書及び年次計画にて実施
保安・警備	毎日実施	仕様書にて実施
植栽管理	適時実施	仕様書及び年次計画にて実施
一般廃棄物処理	週6日実施	仕様書にて実施

【点検・調査結果及び評価】
仕様書及び年次計画に基づき、適正な維持管理が行われている。

② 運営事業実績

〔主な事業・イベント〕

事業・イベント名	開催日時	参加者数	内容
先進建設・防災・減災技術フェア	H30. 11/21～20	5,913人	防災・減災を図り、産業復興を支援するなどの関連技術・製品の展示。災害への対応を向上させるための先進建設技術紹介等
グランメッセ歳末の市2018	H30, 12/29～30	15,500人	
みんなのグルメ広場	H31. 1/1～6	40,000人	

【点検・調査結果及び評価】
閑散期にあたる12月前後に自主事業を開催し、利用率を上げるよう工夫されている。

※施設の維持管理業務のみを行う施設は、記載不要。

3 利用状況

施設名	年計	年計	前年度計	前年度比
	開館日数	354	353	353
展示ホール	利用可能日数	354	270	131.1%
	利用日数	272	224	121.4%
	利用率	76.8%	83.0%	92.6%
	入場者数	869,779	710,917	122.3%
屋外展示場	利用可能日数	354	353	100.3%
	利用日数	55	65	84.6%
	利用率	15.5%	18.4%	84.4%
	入場者数	15,343	30,860	49.7%
CVホール	利用可能日数	354	353	100.3%
	利用日数	289	283	102.1%
	利用率	81.6%	80.2%	101.8%
	入場者数	37,095	41,519	89.3%
大・中会議室	利用可能日数	354	353	100.3%
	利用日数	300	298	100.7%
	利用率	84.7%	84.4%	100.4%
	入場者数	27,924	27,701	100.8%

【点検・調査結果及び評価】

復興需要により、H29に引き続き利用率及び入場者数ともに好調で、地震前のH27を上回った。特に展示ホールの利用が多く、同時利用によりCVホールや会議室の利用が増え、屋外展示場の利用が減った。コンサート等の誘致もあり、利用状況は良好。

※施設入場料や使用料が無料等により、入場(利用者)数が把握できない場合は、「入場者数」欄を削除する等、施設の利用形態に応じて適宜様式は変更すること。

4 管理経費の収支状況

① 収入

項目	内 訳	金額(円)	
利用料金収入	展示ホール	展示ホールA B C D及び屋外展示場	395,594,904
	CVホール		
	大・中会議室		
レストラン売上収入	レストラン、売店	51,556,476	
販売等受託収入	自動販売機等	8,563,336	
主催共催事業収入	自主企画事業(協賛金等)	49,779,921	
業務委託収入	指定管理料、管理運営業務	0	
その他	コインコピー、電話、コインロッカー等	2,340,000	
合計		507,834,637	
	収入未済額	0	
	うち利用料金収入分	0	

② 支出

項目	内 訳	金額(円)
原価	光熱水費、修繕費、委託費(施設・レストラン)、消耗品費、賃借料等	284,731,902
販売費	給与・賞与、法定福利費、旅費交通費(事)、通信運搬費(事)、会議費(事)、印刷製本費(事)、公告宣伝費、事業委託費、イベント助成金、主催共催事業支出、事業開発日、雑費等	120,552,413
一般管理費	役員報酬、福利厚生費、交際費、会議費(運)、旅費交通費(運)、通信運搬費(運)、印刷製本費(運)、新聞図書費、租税公課、雑費(運)等	22,185,329
減価償却費		897,769
合計		428,367,413

【点検・調査結果及び評価】

復興需要による催事の増加等が影響し、収入は予算額を大きく上回り、震災後2年間の赤字からH30は黒字に転換。修繕費の支出が増加したものの、施設利用件数の伸びにより、収支は改善され、概ね良好。

5 利用者調査結果

調査実施内容	調査年月日	平成30年11月21日～11月22日（自主企画事業の際に実施）											
	調査方法	来場者（施設利用者）を対象に、アンケート用紙への記入方式で調査											
	調査対象数	167 件											
調査結果	調査分野	回 答 内 容											
		とてもよい	よい		普通		あまりよくない		悪い		わからない		
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	
	清掃状況	71	59.7	32	26.9	16	13.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	景観(植栽管理)	54	32.3	84	50.3	27	16.2	1	0.6	1	0.6	0	0.0
	安全対策・警備員	44	26.3	70	41.9	50	29.9	1	0.6	1	0.6	1	0.6
	駐車場	51	30.5	78	46.7	34	20.4	3	1.8	0	0.0	1	0.6
	案内表示	29	17.4	83	49.7	52	31.1	2	1.2	0	0.0	1	0.6
	常設展示	19	11.4	78	46.7	60	35.9	7	4.2	0	0.0	3	1.8
	イベント内容	51	30.5	78	46.7	34	20.4	3	1.8	1	0.6	0	0.0
	接客対応	11	25.0	22	50.0	11	25.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
サービス全般	23	13.8	79	47.3	54	32.3	3	1.8	0	0.0	8	4.8	
導入前比較	37	22.2	64	38.3	46	27.5	2	1.2	0	0.0	18	10.8	
利用者からの意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね良好。 ・常設展示は、展示されているだけ、気づかないとの意見あり。 ・主催者からは、予約時に電話がつながらず予約が取りにくい、空港方面行きバス停からの案内がわかりにくいとの意見あり。 												
【調査結果及び評価】 全ての項目で「普通」以上の評価であり、概ね良好といえるが、常設展示の内容検討など、引き続き施設の維持管理や利用者サービスの向上を図っていく。 展示ホールの予約方式は、催事の調整などもありネット予約等への転換が困難であるが、会議室の予約方式などは検討していく必要がある。 バス停の案内表示については、産交バスに要望している状況。 ※実際の調査項目に応じて、適宜様式を変更すること。													

6 意見・苦情等の対応

利用者からの意見・苦情等	改善状況
特になし	
【調査結果及び評価】	

7 昨年度の評価で、改善を指摘した事項に対する対応

指摘事項	改善内容・結果
特になし	
【調査結果及び評価】	

8 その他

特になし
